

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年2月12日(2016.2.12)

【公表番号】特表2015-505224(P2015-505224A)

【公表日】平成27年2月16日(2015.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-010

【出願番号】特願2014-552343(P2014-552343)

【国際特許分類】

H 0 4 W 16/14 (2009.01)

H 0 4 W 74/08 (2009.01)

H 0 4 W 84/18 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 16/14

H 0 4 W 74/08

H 0 4 W 84/18

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月14日(2015.12.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワイヤレス通信デバイス(112)を動作させる方法であって、  
他のデバイス(102、106、107、108、109)による送信を抑制するために使用される信号の送信の有効性を推定する、信号抑制有用性メトリック(SSUM)を生成するステップであって、

ある時間期間の間に他のデバイス(114)からの送信抑制信号について監視するステップと、

前記時間期間中に受信された送信抑制信号の電力を測定するステップと

を含む、ステップと、

前記生成されたSSUMの値に基づいて、送信抑制信号を送信すべきか否かの決定を行うステップと

を含む方法。

【請求項2】

前記送信抑制信号が、S-CTS信号であり、

前記ワイヤレス通信デバイス(112)が、前記S-CTS信号の送信によって抑制されるべきであるWiFiに準拠していない通信プロトコルを使用するピアツーピア通信デバイスである、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記SSUMを生成するステップが、

前記時間期間中に受信された送信抑制信号の数が多いほど、より低いSSUMを生成するステップ

をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記SSUMを生成するステップが、

少なくとも1つの受信された送信抑制信号の前記測定電力に基づいて、前記SSUMを生成

するステップ

をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記SSUMの前記生成が、受信された送信抑制信号の数と、少なくとも最強の受信された送信抑制信号の前記測定送信電力の両方に基づく、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記SSUMが、低レベルの有益性を示す第1のしきい値を下回るとき、送信抑制信号を送信しないことを決定するステップ

をさらに含む、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

前記SSUMが、前記第1のしきい値に等しいか、または前記第1のしきい値を超えるとき、前記送信抑制信号を送信することを決定するステップ

をさらに含む、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

前記SSUMに基づいて、バックオフタイマーを選択するステップであって、前記バックオフタイマーは、送信機会時間間隔中に、いつ前記送信抑制信号を送信するべきかを判断する際に使用され、前記選択されたバックオフタイマーは、より高いSSUMに対してよりも、低い有益性を示す小さいSSUMに対してより大きい、ステップと、

前記選択されたバックオフタイマーが現在の送信機会時間間隔内に満了しない場合、送信抑制信号をキャンセルするステップと

をさらに含む、請求項7に記載の方法。

【請求項9】

他のデバイスによる送信を抑制するために使用される信号の送信の有効性を推定する、信号抑制有用性メトリック(SSUM)を生成するための手段(406)であって、

ある時間期間の間に他のデバイスからの送信抑制信号について監視するための手段(408)と、

前記時間期間中に受信された送信抑制信号の電力を測定するための手段(410)とを含む、手段(406)と、

前記生成されたSSUMの値に基づいて、送信抑制信号を送信するべきか否かの決定を行うための手段(426)と

を備えるワイヤレス通信デバイス(300)。

【請求項10】

前記送信抑制信号が、S-CTS信号であり、

前記ワイヤレス通信デバイス(300)が、前記S-CTS信号の送信によって抑制されるべきであるWiFiに準拠していない通信プロトコルを使用するピアツーピア通信デバイスである、請求項9に記載のワイヤレス通信デバイス(300)。

【請求項11】

前記SSUMを生成するための前記手段(406)が、

前記時間期間中に受信された送信抑制信号の数が多いほど、より低いSSUMを生成するための手段(412)

をさらに含む、請求項10に記載のワイヤレス通信デバイス(300)。

【請求項12】

前記SSUMを生成するための前記手段(406)が、

少なくとも1つの受信された送信抑制信号の前記測定電力に基づいて、SSUMを生成するための手段(414)

をさらに含む、請求項10に記載のワイヤレス通信デバイス(300)。

【請求項13】

請求項1から8のいずれか一項に記載の方法を実行するための命令を備える、コンピュータプログラム。